

雅の里 プロフェッショナルへの道



 株式会社アバンサール

知的資産経営報告書2015年度版

目次

事業概要

沿革

知的資産

外部環境

将来のビジョン

事業展開

代表ご挨拶	・ ・ ・ ・ 2
経営理念	・ ・ ・ ・ 3
会社概要	・ ・ ・ ・ 4
アバンサールの歴史	
沿革	・ ・ ・ ・ 5
アバンサールの紹介	
アバンサールのデイサービス（1日の流れ）	・ ・ ・ ・ 6
アバンサールが選ばれる理由	・ ・ ・ ・ 7
知的資産	
現在の価値創造ストーリー	・ ・ ・ ・ 10
スタッフの強み（人的資産）	・ ・ ・ ・ 11
スタッフの紹介	・ ・ ・ ・ 12
アバンサールの取組（組織資産）	・ ・ ・ ・ 17
アバンサールのネットワーク（関係資産）	・ ・ ・ ・ 18
アバンサールを取り巻く外部環境	
外部環境	・ ・ ・ ・ 19
将来のアバンサール	
今後の事業展開の方向性	・ ・ ・ ・ 20
3年後のアバンサール	・ ・ ・ ・ 21
今後のアバンサールの取組	・ ・ ・ ・ 22
将来の価値創造ストーリー	・ ・ ・ ・ 23
アバンサールの目標（K G I）とアクションプラン（K P I）	・ ・ ・ ・ 24

代表ご挨拶

はじめまして。株式会社アバンサー代表の吉川です。私は約10年間地域の医院で理学療法士として外来・訪問・通所リハビリに携わり勤務してきました。疾病やケガにより障害をもった高齢者、加齢により身体機能が低下した高齢者など、これまでこの国・地域を支えてきた高齢者の方々と多くの出会いがあり、私は多くのことを学ばせていただきました。まだまだ学びの途中ではありますが、人生の先輩方に少しずつ恩返しをするため、介護保険サービスを中心とした会社を設立しました。アバンサーは高い専門性を武器に医療専門職・介護専門職など各分野の専門職を揃え、質の高いサービスを提供しています。今回の報告書ではそのような「強み」を「見える化」することを目的としています。

アバンサーの行っている介護サービスでは、大切にしている言葉が2つあります。「リハビリテーション」と「健康」です。

「Rehabilitation（リハビリテーション）」とは、「re（再び）+ habilis（適した）状態になる」こと。「健康」とは、病気や障害の有無にかかわらず、身体的、社会的な制限を受けずに、自分が行いたいと思うことができること。この言葉から、利用者様の「体の健康」だけでなく、「心の健康」も「再び適した状態」に、その人らしい生活ができるよう支援することを大切にしています。社名「アバンサー」はスペイン語で「前進」を意味します。立ち止まることなく、前進し続け、この国・地域の良さを残しつつ、時代に合ったサービスを提供できる会社を目指していきます。

吉川 義之



経営理念

私たちは常に**前進**することを考え、
常に**誠実**な対応をし、
常に**安心感**を持っていただくとともに
心豊かな**自律**した社会の実現に貢献します。

アバンサールの経営理念は「前進」「誠実」「安心感」「自律」がキーワードです。「前進」は社名「アバンサール」がスペイン語で「前進」を意味するため、常に前進することを目標としています。「誠実」と「安心感」は介護分野だけでなく一般的に大切なサービスです。また、「自律」は「自立」ではなく、自らが価値観を持ち組織全体との価値観の適合性を図りながら、目的と手段を作り出し前進していけるという意味を込めています。これらの理念を大切にすることにより、地域の方々をはじめ弊社スタッフも「自律」し、心豊かな社会の実現に貢献できると考えています。

利用者様に対する思い

利用者様には、住み慣れた地域で、より良い在宅生活を過ごしていただきたいと考えております。
そのためには、今できる能力を維持しながら、少しでもできることが増えるようサポートしていきたいと考えています。

スタッフに対する思い

アバンサールのスタッフは、「利用者様がどのように支援・介護してもらいたいのか？どのようなサービスを受けたいのか？」を常に考えています。
これからも自分を磨く努力を怠らないスタッフであり続けてほしいと思います。



利用者様の談笑する風景



笑顔の絶えないスタッフ

会社概要

【商 号】株式会社 アバンサル
 【代表取締役】吉川 義之
 【所 在 地】兵庫県明石市魚住町中尾605-1
 【電 話 番 号】078-939-2097
 【F A X】078-939-2098
 【事 業 内 容】介護事業
 【資 本 金】501万円
 【従 業 員】25名
 【U R L】<http://www.avanzar.co.jp>



フィジオ・デイサービス雅の里

雅の里リハビリテーションセンター

それぞれの専門家である理学療法士・健康運動指導士・介護福祉士が利用者様の身体機能の向上と目標達成のため全力でサポートしています。自宅へ訪問し、生活環境を確認した上でのリハビリテーションプログラムを立案し、それにそって機能訓練を実施しています。必要であれば手助けを行い、各職種の良さを最大限に活かして利用者様の夢の実現に貢献しています。



雅の里リハビリテーションセンター

フィジオ・デイサービス雅の里

「残された余生を楽しく笑顔で充実したものにする」そういった願いを叶えるため、介護職員、看護師、理学・作業療法士が一丸となって利用者様とご家族様をサポートしています。無理をせず必要な運動を行い、心配事や不安な事を看護師に相談でき、楽しく笑顔で介護職員と会話ができるデイサービスです。いつまでも楽しみながら安心して住み慣れた環境で生活できるようにサポートしています。



フィジオ・デイサービス雅の里（機能訓練室）

アバンサールの歴史

創業のきっかけ

「今、自分が介護保険を使用する立場になった時、デイサービスを利用したいですか？」と聞かれた時に、「利用したいです」と即答できるデイサービスを作りたいと思った事が創業のはじまりです。

介護保険を使用した瞬間から今までとは全く違った生活になるのではなく、楽しく生きがいのある生活を維持し、「健康寿命」が延長できるようにサポートしたいと思っています。

そのためには、きめ細かいサービス、リハビリテーション理念が必要になってきます。

利用者様の立場にたって「してほしい事」と「してほしくない事」を考え、提供できる事業所にしたいと思っています。

アバンサールの沿革

創業期

成長期

年代	出来事	培った強み
2012年5月	株式会社アバンサール設立	- 地域のケアマネジャーとのネットワークを構築 - 専属のパティシエ
2012年11月	フィジオ・デイサービス雅の里開設	介護福祉士による手厚いサービスを開始
2013年3月	フィジオ・デイサービス雅の里移転	より充実した設備を導入
2014年4月	雅の里リハビリテーションセンター開設	国家資格を持つ各種専門家が入社
2015年4月 (予定)	雅の里リハビリ訪問看護ステーション開設	アバンサールの介護ブランド力
2016年3月 (予定)	雅の里健康サポートセンター開設 (地域密着型認知症対応型通所介護)	

アバンサールの紹介

アバンサールのデイサービス（一日の流れ）



【送迎】事業所名が記載されていない送迎車で、利用者様のプライバシーに配慮しています。また、少人数の送迎であるため、乗車時間が短く、利用者様への負担を軽減しています。



【昼食】兵庫県産ヒノヒカリを使用し、おいしく炊き上げ、月に1・2回は混ぜご飯にしています。利用者様の健康を考え、薄味・塩分控えめのおかずを提供しています。



【健康チェック】看護師2名による2重の健康チェックで、利用者様の体調管理を徹底して行っています。正看護師は急性期医療での勤務経験があり、救急時の対応も安心です。



【入浴】入浴は経験豊富な介護士が利用者様の状態に合わせてお手伝いをさせていただきます。また、お身体の状態に合わせて、一般浴と機械浴を利用させていただいております。



【集団体操・個別機能訓練】集団体操は、健康運動指導士やスポーツトレーナーが中心となり、運動器機能の維持・改善を目的に実施しています。個別機能訓練は、専属の理学療法士が利用者様の生活に適したプログラムを立案し実施しています。



【おやつ・カフェ】手作りおやつを提供し、数種類の飲み物を常備しており、利用者様が飲みたい物を提供しています。おやつタイムを作ることで、他の利用者様と会話を楽しんでもいただくことができます。

アバンサールの紹介

アバンサールが選ばれる理由

質の高い機能訓練を通してリハビリテーションを応援しています。

理学・作業療法士が中心となり、利用者様にあったリハビリテーションプログラムを立案します。また、健康運動指導士やスポーツトレーナーが運動プログラムを楽しく効果的なものにアレンジし、リハビリテーションに貢献します。さらに、レッドコードと呼ばれる紐を使用したバランストレーニング機器や効果的な筋力・有酸素トレーニングマシンなど数多くの機器を揃えています。

レッドコード（集団体操）



普段は、怖くて手を伸ばせないところへのバランストレーニングや縮んだ筋肉のストレッチに使用できます。リズムに合わせてゆっくりと行うため、初心者の方にも大変好評な機器です。

住環境を加味したメニュー提案



自宅で移動の際にお困りの場所や転倒しやすい場所を訪問時に確認しています。住み慣れたご自宅で安心して過ごせるように、アドバイスさせていただいています。

一日二回の個別機能訓練



介護給付で1日ご利用の方には、1日2回、マンツーマンの個別機能訓練を提供しています。これは、機能訓練する時間を多くとっていただくためのアバンサール独自の取組みです。

健康運動指導士による運動指導



健康運動指導士は評価に基づき、的確なトレーニングメニューを組み立て、提供する能力を有しています。利用者様の身体状況に合わせて実施しています。

アバンサールの紹介

アバンサールが選ばれる理由

きめ細かく、手厚い介護サービスを提供しています。

経験豊富な介護士が利用者様の状態に合わせてサービスを提供しています。介助方法などはスタッフ間で意見交換し、最適な方法を常に模索しています。残存能力（自身で出来る生活能力）や改善可能な点を理学・作業療法士が確認し、残存能力を最大限に引き出しながら、改善可能な点については機能訓練を兼ねて入浴などの動作練習を行っています。

専属のパティシエによる「手作りおやつ」を提供しています。

手作りおやつは、美味しく召し上がっていただくことができるように甘さを控え、温かい物は温かく、冷たいものは冷たい状態で提供しています。春は「桜餅」、夏は「七夕ゼリー」といったように季節やイベントに合わせたおやつにしています。また、シフォンケーキや蒸しパンは「抹茶味」であったり「さつまいも」といったように、味や素材のパターンを変えて作っています。さらに、新メニューを考案し、おやつタイムに利用者様が楽しんでいただけるように努めています。



春に提供している桜餅



夏に提供している七夕ゼリー



抹茶味のシフォンケーキ



さつまいもの蒸しパン

アバンサールの紹介

アバンサールが選ばれる理由

利用者様とご家族様に優しい送迎を心がけています。

事業所名を記載していない送迎車を用いることで、利用者様やご家族様のプライバシーに配慮しています。送迎人数は3～5名程度で、車内で過ごす送迎時間を短縮できるように心がけています。そのため、事業所出発から長くても30分でご自宅に到着しております。また、お送りの際は、ご家族様にその日の様子をお伝えするようにしています。

専門家が利用者様やご家族様のご相談も親身に応じます。

相談内容にあわせ、それぞれの専門職が利用者様やご家族様の相談に親身に応じます。看護師は、専門性を活かして、利用者様の健康相談やご家族様の看護や介護の不安についての相談に応じます。理学・作業療養士は、身体状況把握と環境設定のスペシャリストとして、在宅生活でお困りの点や不安な点についての相談に応じます。介護士は、生活全般の不安な点について、いつでも相談に応じます。

ケアマネジャーには、定期的にきめ細かい報告をしています。

実績報告は、可能な限り管理者および生活相談員が、ケアマネジャーに手渡しすることで、利用者様のご様子など細かくお伝えするように心がけています。また、ご利用中や送迎時など変化を感じた場合は、管理者もしくは看護師からケアマネジャーに連絡するようにしています。そうすることで、密なサービスを提供することができると考えています。



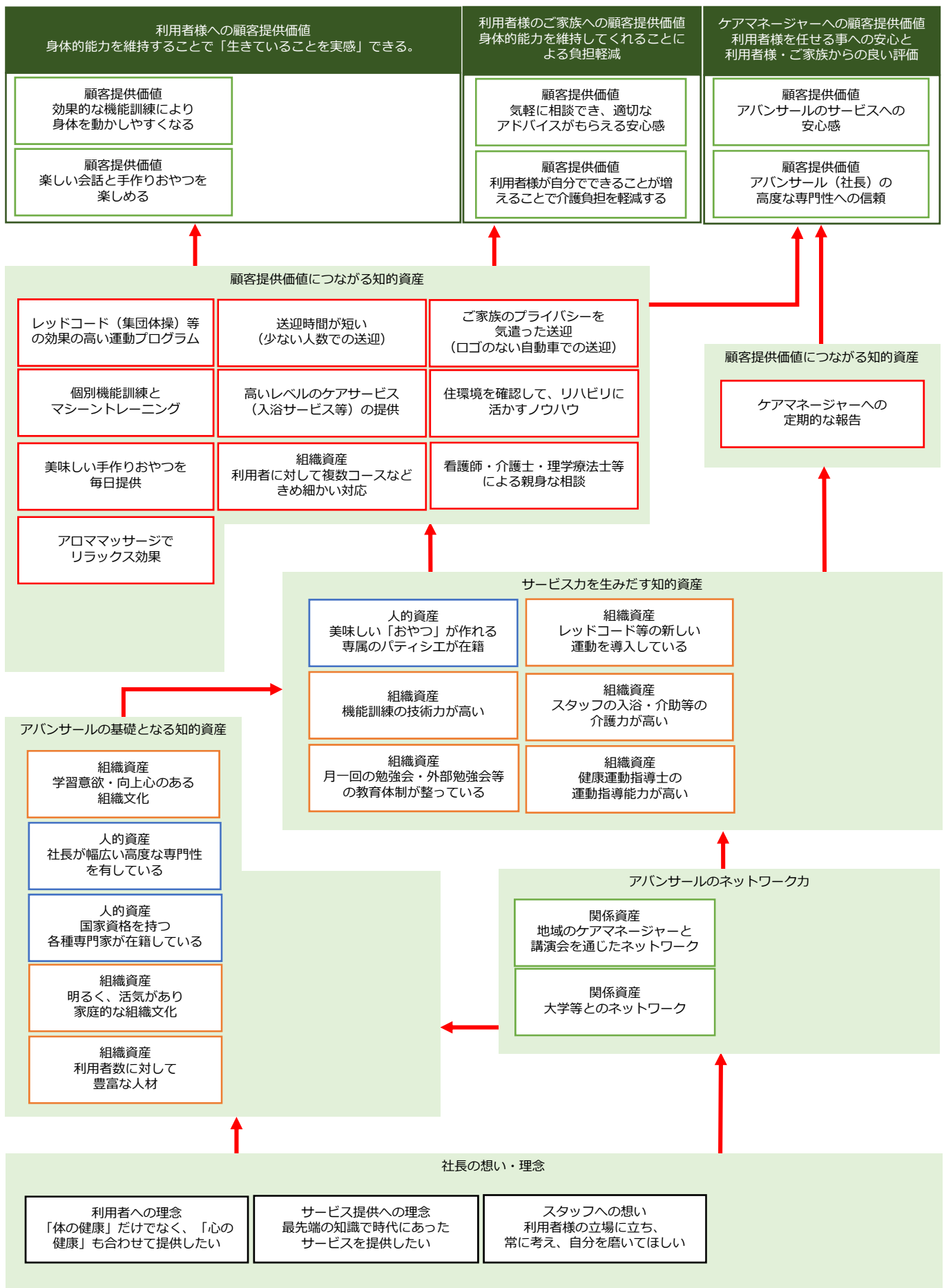
安全な乗・降車を心がけています。（送迎時の風景）



専門家（福祉住環境コーディネーター）による相談風景

アバンサールの知的資産

アバンサールの価値創造ストーリー（現在）



アバンサールのスタッフの強み（人的資産）

資格を有する各種専門家が多数、在籍しています。

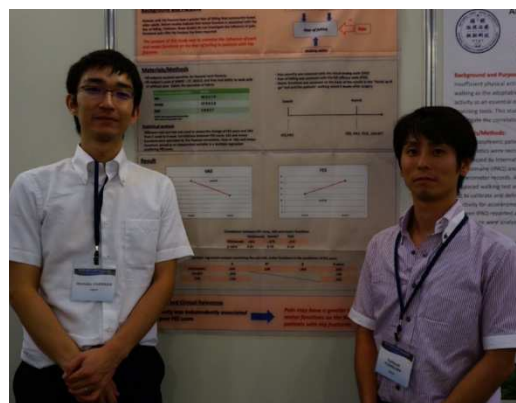
- ・理学療法士（3）
- ・正看護師（2）
- ・准看護師（2）
- ・ヘルパー2級（2）
- ・福祉住環境コーディネーター2級（1）
- ・リハビリケア専門士（1）
- ・ライフパートナー専門士（1）
- ・認知症ケア専門士（1）
- ・予防医学リンパ健康セラピスト（1）
- ・アロマセラピーアドバイザー（1）
- ・ファイナンシャルプランナー（1）
- ・介護福祉士（7）
- ・健康運動指導士（1）
- ・スポーツトレーナー（2）
- ・個人情報保護士（2）



スタッフは、資格取得に積極的に取り組んでいます。

幅広い高度な知識を有する専門家が在籍しています。

専門理学療法士（生活環境支援系、物理療法）、認定理学療法士（介護予防、褥瘡（じよくそう）・創傷ケア）、心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、褥瘡学会認定士の資格を有しています。また、それぞれの領域で学術活動もおこなっており、学術論文は筆頭著者として10本以上、国際学会での発表は5回以上、全国学会での発表は20回以上行っています。これらの最先端技術や知識を「雅の里」で活用しています。



アジア学会で「介護予防」について研究発表

専属のパティシエが在籍しています。

日本料理・西洋料理・中国料理および洋菓子を専門学校（洋菓子を専攻）で学び、調理師免許を取得。卒業後は洋菓子店へ就職し、生菓子全般を任されていました。退職後は独学で和菓子・洋菓子のレパートリーを増やし、オリジナルレシピも考案しました。

【オリジナルレシピ】

- ・洋菓子 100種類
- ・和菓子 50種類



パティシエによる「パースデーケーキ」の調理風景

アバンサールのスタッフのご紹介

非公開

人的資産

アバンサールのスタッフのご紹介

非公開

アバンサールのスタッフのご紹介

非公開

人的資産

アバンサールのスタッフのご紹介

非公開

アバンサールのスタッフのご紹介

非公開

アバンサールの取組（組織資産）

アバンサールは、明るく活気にあふれたデイサービスです。

アバンサールのスタッフは、会社の理念や想いに共感しています。そのため、組織風土として、風通しが良く、職種や経験年数、年齢に関係なく、スタッフがディスカッションできる環境にあります。その高いコミュニケーションで利用者様の情報を共有することができています。

スタッフ全員が、利用者様の事を良く理解しているので、日頃の会話も弾みます。アバンサールのデイサービスは、楽しく活気のある雰囲気であふれています。



介護職員以外のスタッフも会話が弾みます。

きめ細かい対応をするため、スタッフの充実を図っています。

国の定める基準よりも手厚く、30名に対して5名の介護職員（うち介護福祉士3名）と2名の看護職員（うち正看護師1名）を配置しています。さらに、2名の専従理学療法士と1名の非常勤の理学・作業療法士を配置し、療法士3名で利用者様の個別機能訓練を行っています。リハビリテーションセンターにも2名の介護職員と健康運動指導士、専従の理学療法士を配置しています。



スタッフ数が多いので、ゆっくり話が出来ます。

私たちは能力向上のために努力し続けます。

毎月1回以上の社内勉強会を開催しています。内容は、介護保険制度や感染症予防、介助方法などであり、各スタッフが持ち回りでを行っています。また、正社員に限らずパート職員も会社のフォローにより外部研修会や講習会、学会に参加し、新しい知識や技術の習得に力を注いでいます。

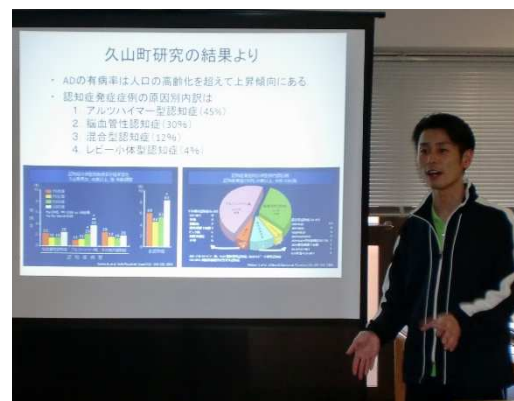


介助方法の社内勉強会の風景

アバンサールのネットワーク（関係資産）

地域のケアマネジャーの勉強会等を通じて良い関係を構築しています。

学会や研究会などで知り得た最新情報を、できるだけ分かりやすく地域のケアマネジャーにお伝えすることを大切にしています。アバンサールだけでなく、近隣の介護施設にも導入していただくことも目的としています。そうすることで、介護施設全体の介護力の底上げになると考えています。



「認知症予防」の勉強会を開催しています。

大学とのネットワークで新しい知識・技術の情報が入ります。

大学の研究室や多くの学術団体に所属しています。その強みを活かし、大学のカンファレンスには毎週参加し、海外や全国各地で行われる学術集会にも年5回以上は参加しています。

そこで得た最先端の知識や技術を早期からアバンサールに導入しています。



代表の学位証書（保健学修士）

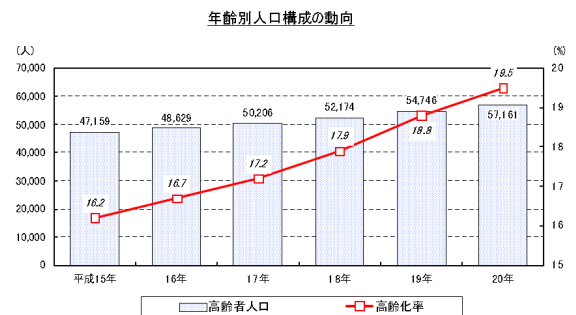
アバンサールを取り巻く環境（外部環境）

アバンサールと取り巻く外部環境

明石市の高齢化率は、増加しています。

平成20年4月現在、明石市の65歳以上の高齢者人口は57,161人、人口総数に占める割合（高齢化率）は19.5%となっています。同時期の全国平均（21.9%）や兵庫県（21.2%）の割合よりは低い状態で推移していますが、毎年増加を続けています。

明石市高齢化率の推移



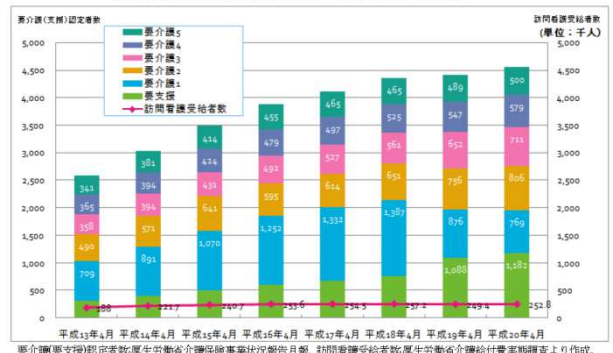
※各年4月1日現在 住民基本台帳人口

出典：明石市高齢者いきいき福祉計画及び介護保険事業計画

訪問看護ステーションは、まだまだ供給不足です。

訪問看護ステーションの利用者数（医療保険・介護保険）は、現在約31万人で、介護保険利用者や要介護者数の伸びに比べて、ほとんど増加していません。日本看護協会推計によれば、平成32年には訪問看護の必要者は100万人になることが見込まれています。急激な利用者ニーズの増加に対応できるように訪問看護サービスの供給基盤を早急に確立する必要があります。

要介護者数と訪問看護受給者（介護保険）の推移



出典：「訪問看護10ヵ年戦略」日本看護協会

65歳以上の高齢者の7人に1人が認知症有病者です。

高齢化の進展とともに、認知症患者数も増加しています。厚生労働省の推計では、65歳以上の高齢者の認知症有病率（平成22年の推定値）は15%、約439万人となっており、7人に1人程度が認知症有病者と言えます。なお、「正常」と「認知症」の中間状態の人（MCI）を加えると、4人に1人が認知症またはその予備軍ということになります（MCIが必ず認知症になるわけではありません）。認知症は高齢になるほど発症する可能性が高まり、今後も認知症の人は増え続けると言われています。

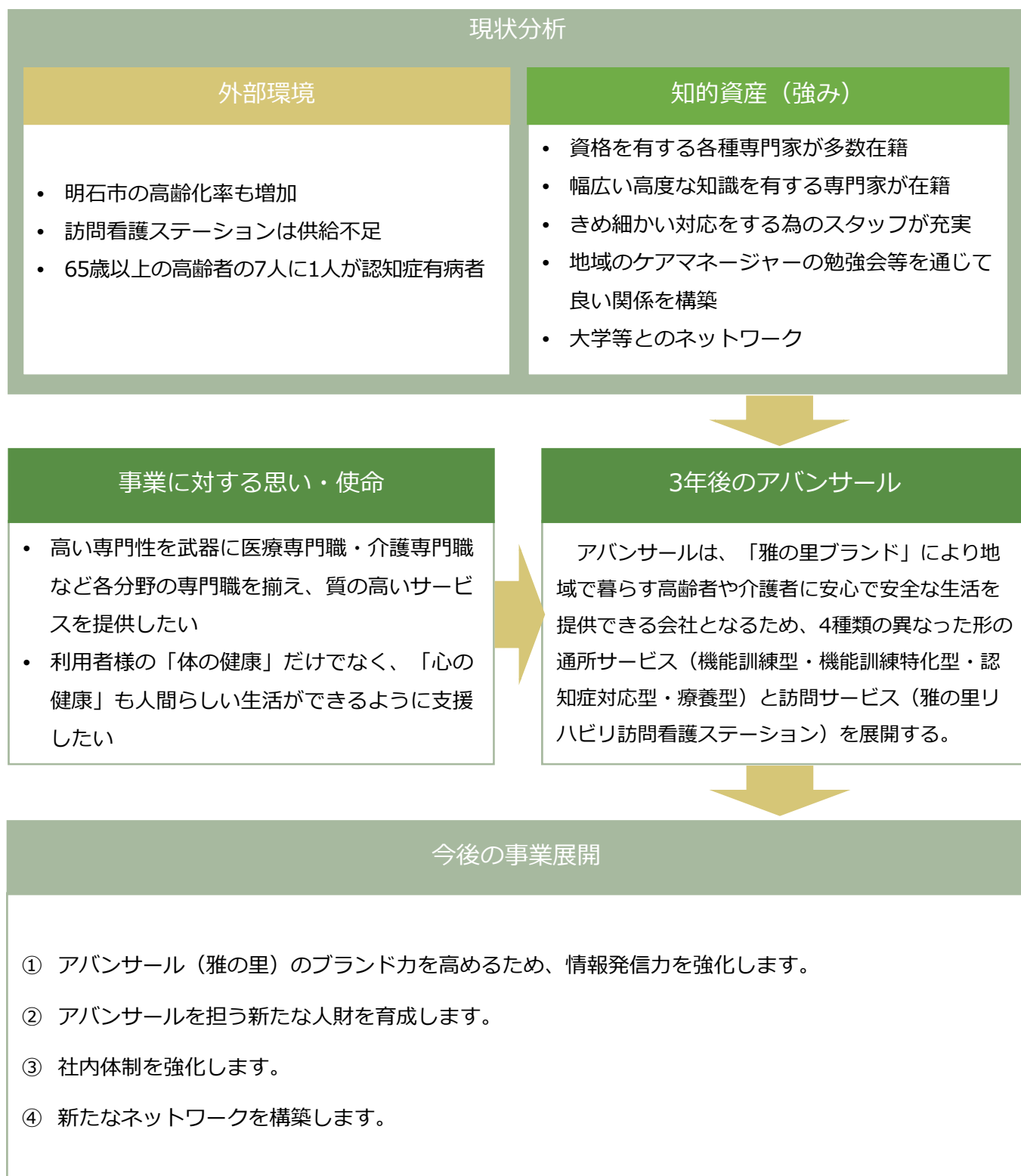
65歳以上の高齢者における認知症の現状（平成22年・推計値）



出典：厚生労働省「認知症高齢者の現状」／平成22年

今後の事業展開の方向性

外部環境に対応する「アバンサール」の今後の展開



3年後のアバンサール

3年後のアバンサールは異なる5種類の事業所を展開します。

アバンサールは、4種類の異なった形の通所サービス（機能訓練型・機能訓練特化型・認知症対応型・療養型）で地域の高齢者をサポートしていきます。機能訓練型は現在の「フィジオ・デイサービス 雅の里」で、機能訓練特化型は現在の「雅の里リハビリテーションセンター」になります。今後、認知症の進行予防を目的とした「認知症対応型通所介護」と医療ニーズの高い重度介護者を受け入れるための「療養通所介護」を設立する予定です。また、看護師・療法士による訪問サービス「雅の里リハビリ訪問看護ステーション」を平成27年4月に開設する予定にしています。

3年後、アバンサールは「雅の里ブランド」により、地域で暮らす高齢者や介護者に安心して安全な生活を提供できる会社となっていく予定です。

訪問看護ステーション

看護師による訪問を実施することにより、利用者様・ご家族様に安心な在宅生活を過ごしていただけていると思っています。デイサービスとの連携により、在宅生活で困っている点をデイサービスで解決したり、また、その逆も可能になります。疾病やケガにより看護が必要な状況であっても、訪問看護によるサポートで住み慣れた町・環境で生活していただけていると考えています。

訪問リハビリテーション

理学・作業療法士による専門的な訪問リハビリテーションにより、在宅生活で困っている点を解決します。それにより住み慣れた環境で安心して生活をしていただくことが可能になります。また、デイサービスとの連携により、機能訓練と生活能力の向上を図ることができ、よりよい在宅生活が可能になると考えています。

認知症対応型デイサービス

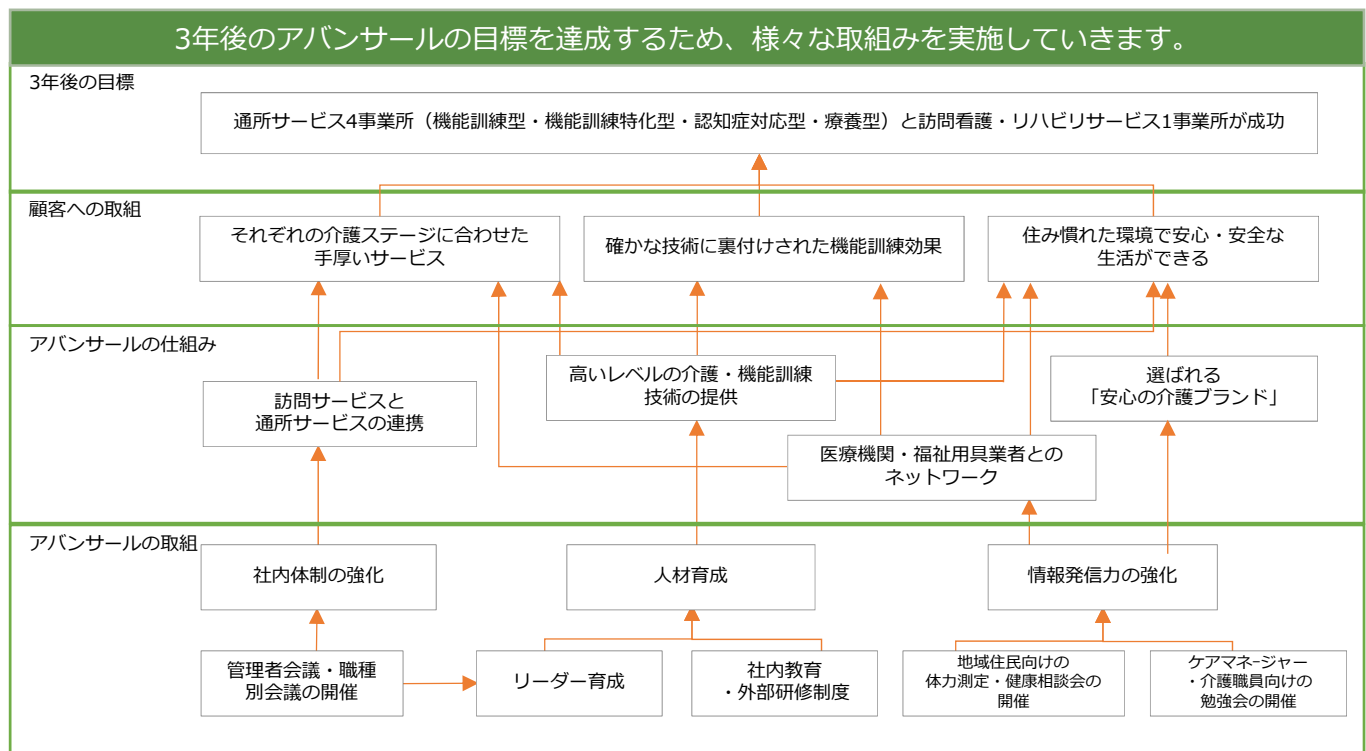
認知症は、生活習慣が原因であることが近年の研究で明らかになっています。特に重要なことは、日常的な運動とデュアルタスク（複数の事を同時に遂行する能力）といわれています。現在の多くの事業所で行われている認知症対応型デイサービスとは異なり、運動や脳を活性化させるプログラムを取り入れた、進行予防を目的とした新しい認知症対応型デイサービスを考えています。

療養通所介護サービス

近年、療養型病床の削減が計画されています。療養型病床が少なくなると、医療ニーズの高い高齢者が在宅で生活することになります。その際、手厚い看護と介護が必要となり、ご家族様には大きな介護負担が押し掛かります。そのような状況でも住み慣れた環境で生活していただくために、手厚い看護と介護を提供できる療養通所介護サービスの開設が必要であると考えています。

今後のアバンサールの取組

今後のアバンサールの取組を紹介します。



アバンサールのブランド力を高めるため、情報発信力を強化します。

研究活動やサービス提供の仕組み・各種ノウハウを蓄積し、地域住民および介護保険領域の方々に還元できるよう情報発信力を強化していきます。具体的には、地域住民向けの無料体力測定会や看護師による健康相談、ケアマネージャーおよび介護職員向けの勉強会を実施し、ブランド力を強化していきます。

アバンサールを担う新たな人材を育成します。

新たな資格・情報を取得できるよう社内教育体制・外部研修制度を強化します。また、新人教育システムを導入し、新たな人材の育成に力を注いでいきます。さらに、現在のスタッフから組織のリーダーを育成します。そのリーダーが新人教育に関わることにより、会社の想いがスタッフ全員に伝わる体制を作っていきます。

社内体制を強化します。

現在行われている定例会議とは別に、各事業所の管理者会議や職種別会議を行い、社内体制の強化を図ります。また、管理者およびサブリーダーは転勤により、それぞれの事業所の良い点と改善点を把握する体制を整えます。それにより、アバンサール全体で良いサービスを提供できる体制を構築します。

新たなネットワークを構築します。

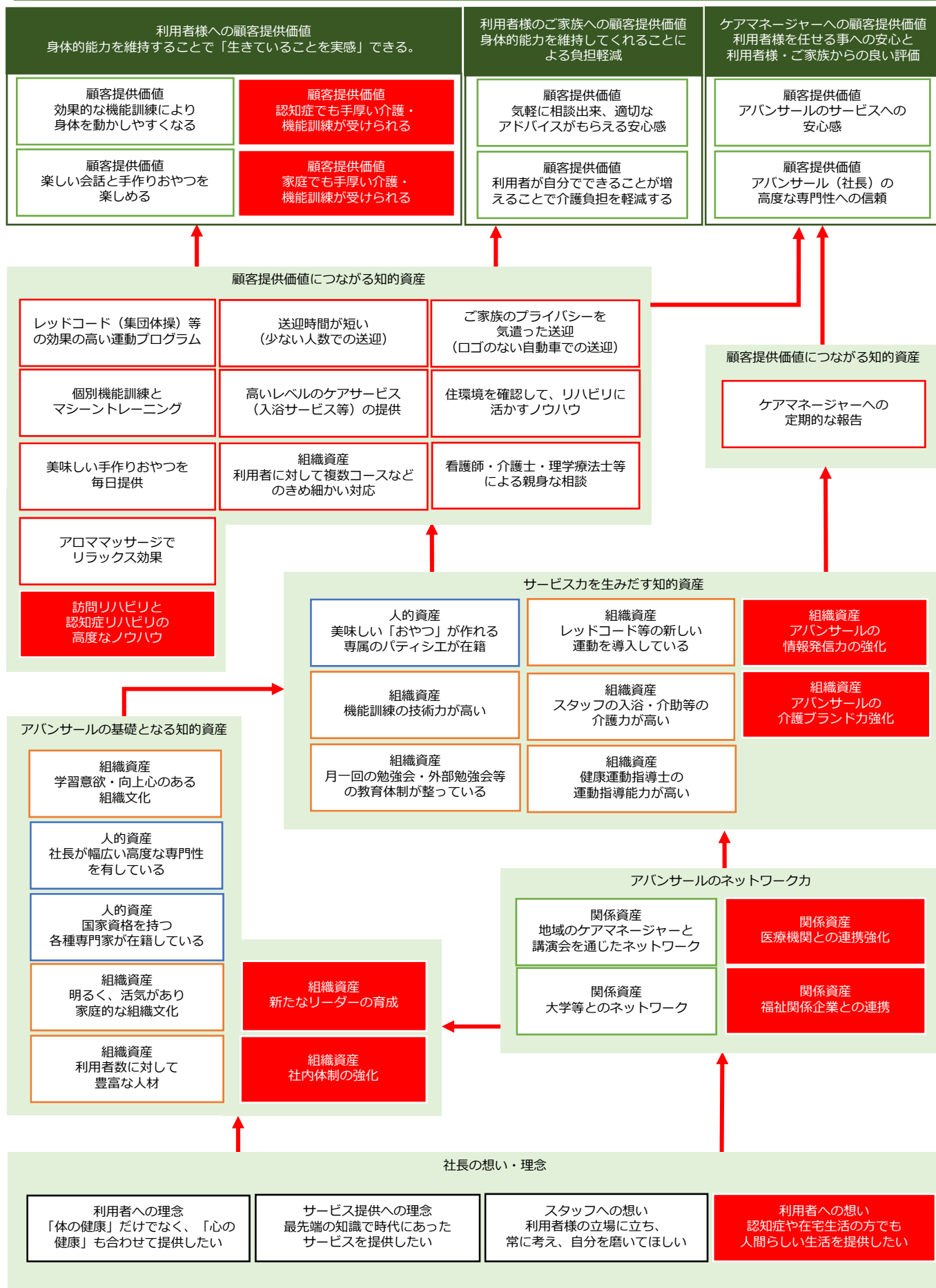
居宅介護支援事業所や通所介護施設とのネットワークだけでなく、訪問看護・リハビリを通じて地域の医療機関との連携を強化していきます。

また、福祉用具業者や義肢装具会社との連携も強化していきます。それにより利用者様にとって安心、安全で利便性の高いネットワークを構築します。

将来のアバンサール

アバンサールの価値創造ストーリー（将来）

強化する知的資産



アバンサールの目標とアクションプラン

3年後の事業目標

5種類の事業所を展開

4種類の異なった形の通所サービス（機能訓練型、機能訓練特化型、認知症対応型、療養型）と訪問看護・リハビリサービスの合わせて5種類の事業所により、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるようにサポートしていきます。

登録利用者数 400名

フィジオ・デイサービス雅の里：140名、
雅の里リハビリテーションセンター：120名、
認知症対応型：35名、療養型：30名、雅の里リハビリ訪問看護ステーション：75名で計400名の利用者様に登録していただき、きめ細かいサービスを提供していきます。

アバンサールのアクションプラン

No.	アクションプラン	期日	評価項目(KPI)
1	ケアマネージャーおよび介護職員のための勉強会	2016. 3月末	ケアマネージャー 新規20件
2	無料体力測定会および看護師による健康相談会 (年2回継続)	2017. 3月末	延参加人数 100人
3	社内教育体制・外部研修制度の見直し	2017. 3月末	個人のレベルアップ 2資格以上(全員)
4	年に1人以上のリーダー（管理者）を育成	2017. 9月末	管理者 2名 サブリーダー 5名
5	地域の医療機関と他業種とのネットワークの構築	2017. 9月末	医療機関 5件 福祉関連企業 5件

知的資産経営報告書について

【知的資産とは】

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。

「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成しております。

【知的資産経営報告書とは】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附随する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しております。

そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、ご了承願います。

【作成支援専門家】

本知的資産経営報告書に記載それら内容の客観性を保つために、以下の専門家の支援を得て作成しました。

青野 拓真（中小企業診断士 登録番号409366） 井原 博幸（中小企業診断士 登録番号409784）



<http://www.avanzar.co.jp>



株式会社アバンサール

〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾605-1

☎ 078-939-2097

☎ 078-939-2098

【事業所】



フィジオ・デイサービス 雅の里

〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾605-1 パティオ明石2階

☎ 078-947-3773

☎ 078-939-2098



雅の里リハビリテーションセンター

〒674-0092 兵庫県明石市二見町東二見506-1

☎ 078-942-2898

☎ 078-939-4278



雅の里リハビリ訪問看護ステーション

〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾605-1 パティオ明石1階

☎ 078-939-2177

☎ 078-939-2098